

せい わ

秋の気配
秋の夜半
かわやに立ちて
目覚めいる
虫の声聞きつつ
眠りに入りぬ

順造

☆発行所☆

府中静和寮

広島県府中市土生町1636番地の1
TEL (0847) 41-2375
FAX (0847) 41-8620

☆発行人☆

寮長 大橋 亘



老人福祉月間総集編 とことんやります！ こんな行事、あんな行事！

早朝から芦田川の清掃をしました。
清掃をしてもすぐにゴミが溜まるのはなぜ？



八月から九月にかけての行事は、一年を通して、一番多い月にあたる。今回は、いったいどれだけの行事があるのかを列挙したいと思います。

ビアガーデン、迎え火、送り火、中学生一泊体験、芦田川堤防清掃、一日寮長、寮内敬老記念式典、府中町敬老会、家族会園遊会、土



中学生一泊体験より



敬老式典より 白寿の祝い

生町老人招待交歓会、物故者追弔法要・法話、お茶の接待、南小学校運動会、市老人クラブ連合会福祉大会、オタフクソースからの訪問、市民健康&福祉まつり：など。

毎月行われている定例の行事とは別に、これだけの行事が集中します。さすが、敬老月間である。間髪入れず、次の行事が待っているのだから、利用者の方もさぞかし忙しいことと思う。



一日寮長
神田市議会議員

この行事の中で印象的なのは、上の写真の芦田川清掃である。毎年行われているのだが、参加する利用者の方はゴミ拾いに夢中になる。普通我々はゴミ拾いやイヤなのに……。しかし、利用者の方は違う。一生懸命我先にと拾う。ただ、川を上へ下へと散って行方不明になりかけるのは、やや困るかな……！

介護者は今

平成九年八月二十七日、主人が脳内出血で倒れ半身麻痺となった時、私の脳裏に浮かんだことは、二十六年間、寝たきりの不自由な生活を三年半たえて逝った姑のことでした。

その間、特に

こまだったことは、入浴のことでした。現在主人はデイサービス（通所介護）のお世話になって、入浴はもうろん、月に一度の散髪までしていただいていたので、通所介護でお願いしています。

四季折々の花見見物などの遠出や通所の際に、車窓から見える地域の懐かしい風景を眼にすることができると、おしゃべり好きな主人は、利用者、同僚の方々と会話できることも大きな喜びのようです。

優しく行き届いた介護を

現在七名の方が利用されています。レクリエーションは、一日のスケジュールを参照してください。

申請込みについては、当通所介護事業所又は在宅介護支援センターまでお問い合わせください。

■生きがい通所事業スケジュール

時 間	内 容
9時	迎え
9時30分	到着後健康チェック
10時	入浴・飲談
12時	昼食・飲談・リハビリ
14時	レクリエーション
15時	喫茶
15時20分	送り

皆さん友達になりましょう

土曜日が待ち遠しいよ!



皆さんが元気で楽しく過ごせるよう、努めていきたいと思っています。

池田 悦子

笑顔忘れず少しでもお年よりの方のお役に立ちたいです。

近藤 千花子



着任して三ヶ月、職員の皆さんの溢れる熱意と労を惜しまない気風に感激するとともに、前途洋々なりと心強さを実感しております。私も皆さんとともに、いかにしたらお年寄りに満足していただけるかを常に念頭に置いて、微力ながらも身魂を傾注する所存です。どうかよろしくお願いいたします。

高尾 芳文

私たちががんばります。よろしく願いいたします。

新職員紹介

(パートⅡ)

まだまだ未熟な私ですが…。

宮本 恵

ファイトいっぱいの子供のお母ちゃんです。

芝内容子

いつも笑顔で心掛けています。

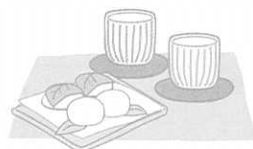
清川 和枝

写真前列右より

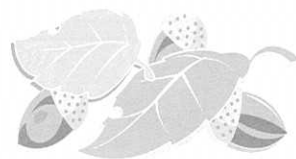


写真後列右より

お茶クラブでの1コマ



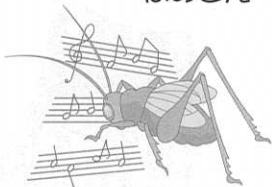
- 寮母 「今日はお茶クラブをしましょう」
 ばあさん 「甘くておいしいおまんじゅうじゃねえ」
 じいさん 「昔は砂糖がなくてこんなに甘いもんは、めったに食べれなかったなあ」
 ばあさん 「そうそう、砂糖は貴重品だったもんねえ」
 じいさん 「砂糖のかわりにサッカリンや甘味源を使ったよねえ」
 A 「ねえ、あんこはどうやって作つとつた？」
 B 「ええと、あずきを炊いて、それからこす時、袋の中に入れるんよね」
 A 「あれは袋の中身があんこになるんよね」
 C 「違ふよ。袋から出た汁があんこになるんよ」
 B 「え~~~~！うそ~~~~！！！！！」
 ABC 「あれえ~、どっちだったかな????」



なんだが、寮母さんたち、わけがわかんなくなっていました。

そこで一言

ばあさん 「これこれ、そんなこと言っていると笑い者になるよ。昔、あんこをざるに入れて川でこして、流してしもうた人がおつて、有名になったんでえ」



さて、皆さんの中には、こんな“とんちんかん”な会話をする人いませんよね。

皆さん、笑わないで下さい。

私は、去年四月より野球クラブに入った。チーム名は論語の「四十にして迷わず」からとった「不惑」という。メンバーは四十歳代が中心である。四十年前に野球好きが集まり、始めたらしい。レベルの高いチームだったと、当時を知る長老が誇らしげに話す。

私は昔、二十歳頃、徳山で野球チームに入っていた。野球をしていたというだけで、決して上手ではないが、知人より勧誘され、市内一の長寿チームに入った。

試合は日曜日にあり、メンバーが子供の行事を優先したり、また、足腰が痛いなど、長寿メンバーならではの悩みなどで人数が揃わず、不戦敗したこともある。しかし、チームを引っ張る長老たち（平均年齢六十八歳？）は、元気がよい練習日には参加し、バッティン



グピッチャー、或いはキャッチャーを努めてみせる。口も体も達者。どこにあるのかわからない。どこにいても。そして、私たちが四十代にも必ず温かいアドバイスをくれる。本当にありがたい。こんなチームも今年、一六歳から二〇歳代の数人が加入して、八月の市内秋季大会で、二十二チームのトーナメント戦を制した。創設以来、優勝は初めてらしい。

長老達は口癖のようにいう。「二十歳の技術、体力には勝てないが、和を大切に、楽しみながら野球をする。これは、チームにも負けないと。」

なかなか味のあるチームである。私は六十・七十代になっても、チーム精神を受け継ぎ、楽しみながら一勝を目指すこのチームに籍を置きたいと考えている。

杼原 健治



はっぴ姿も様になっている

「やさしい息子」

私の息子は、3歳になりました。私の体調が悪いとき、「しんどい？抱っこしてあげるから、おいで」と抱っこしてくれるやさしい子です。

清水 皇子

ユニフォーム姿の杼原さん





今世紀最後のオリンピックがシドニーで行われました。そこで、今回はオリンピックの思い出というテーマで、利用者の方に聞いてみました。

☆ 一九六四年に東京オリンピックを観に行きました。バレーボールを観ました。バレー一筋に頑張っている彼女達の姿は、感動的でした。「東洋の魔女」と呼ばれた頃の話です。

河相 雪子

☆ 東京オリンピックの時、三波春夫が唄った「世界の国からこんにちは」はよかったね。あの時は、記念硬貨が出て、私は銀行へ並ん

だんよ。なかには、いろんな銀行を渡り歩いて何枚も交換した人がおられるらしいよ。

瀬尾 キミエ

☆ 東京のことは覚えていないけど、今年のオリンピックは毎日観ていました。柔道、水泳、それから初めて観たシンクロナイズドスイミング、板飛び込み、次々と競技がありました。一番印象に残ったのは柔道です。

井上康生選手が金メダルをとり、表彰台にお母さんの遺影と一緒に上がった時には、思わず涙が出ました。やはり、お母さんが一番いいんですね。私も七十歳過ぎの息子がいますが、未だにかわいいです。そりゃー腹を痛めた子じゃもんな！

根来 静子

介護者は今

大崎 君枝

☆ 女子柔道が昔はなかったのに、今頃は女子が柔道するようになって、それに金メダルまでとって、びっくりです。

剣道はオリンピックにはありませんが、女の子が「ヒエー」と声を出して戦うなんて、私には考えられないことです。

今年の六月、入院している間は、頼れる人がおられたので不安はなかったのですが、家で一人で見ていると不安が一杯で無我夢中です。経営栄養、身体清拭、おむつの交換など、慣れない私は、一日中母の世話ばかりしております。愚痴一口言わず、毎日を過ごします。何を思っているのでしょうか？「子供たちが小さいとき、よく面倒を見てくれてありがとうね」というと、こつくりうなずきます。何とか声を出させようと何度も何度も声をかけ、懐かしい人の名前を言われます。こんな母を見てみると、子供のようになんか可愛く思えます。介護が大変なこと、痛感しております。会社勤めをしておりました私には、人との会話がなくて、ストレスが溜まります。訪問看護の方との会話、友人との会話、家族との会話。今、とても大切にしております。また、デイサービス、シヨ

ートステイを利用させていただき、少しのやすらぎの時間を作っています。寝たきりの母をベッドから抱き上げて連れて行つて下さる静和寮の方の汗だくの顔を見ると、思わず手をあわせてしまいます。本当にありがとうございます。感謝しております。これからもよろしく願っています。

用土町

高尾 澄江

体験学習をしてみよう

戸手高等学校
村上沙央里

私は将来福祉の仕事をしたくて、体験学習に参加しました。中学のときにも、一回来たことがあって、そのときは友達と一緒にだったから、あんまり不安じゃなかったんだけど、今日は一人でなにかもが不安でした。オロオロしていたら、お年寄りの方がいろいろ話かけてくれて、すごく嬉しかったです。

いろいろな話をしていくうちに、楽しくなってきた。質問したりして楽しく話ができたと感じます。食事介助のときに、前もなかったんだけど、やっぱり難しくて、何が食べたいのかとか全然わからなくて、量とかもわからなくて、やっぱり難しかったです。頭を乾かすのとかは、初めてやったんだけど「ありがたう」と言われるのがすごくうれしかったです。また明日あるから、今度は楽しくお年寄りの人達と、いろいろな話をしたいです。それで、もっとお年寄りの人達を喜ばせてあげたいと思います。

最近、どうも太りすぎなので、好きなビールを控えようと、ほぼ毎日飲んでたビールを週のうち、三日に減らした。自分から言い出したのだから、継続させるつもりで現在進行形である。しかし、週に三日というときがある。しかも、飲める日は、二本までしか飲むことができないのだ。だから、何かしら理由をつけて外で飲める段取りを率先して行っている自分がそこにあつた。トホホ…

編集後記



あやめ寮の方との合奏（メロディーベル）